

赤潮情報第62号

(八代海：カレニア ミキモトイ、シャットネラ属、コクロディニウム警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

カレニア ミキモトイが八代海で最大240細胞。減少傾向ですが、引き続き警戒が必要です。

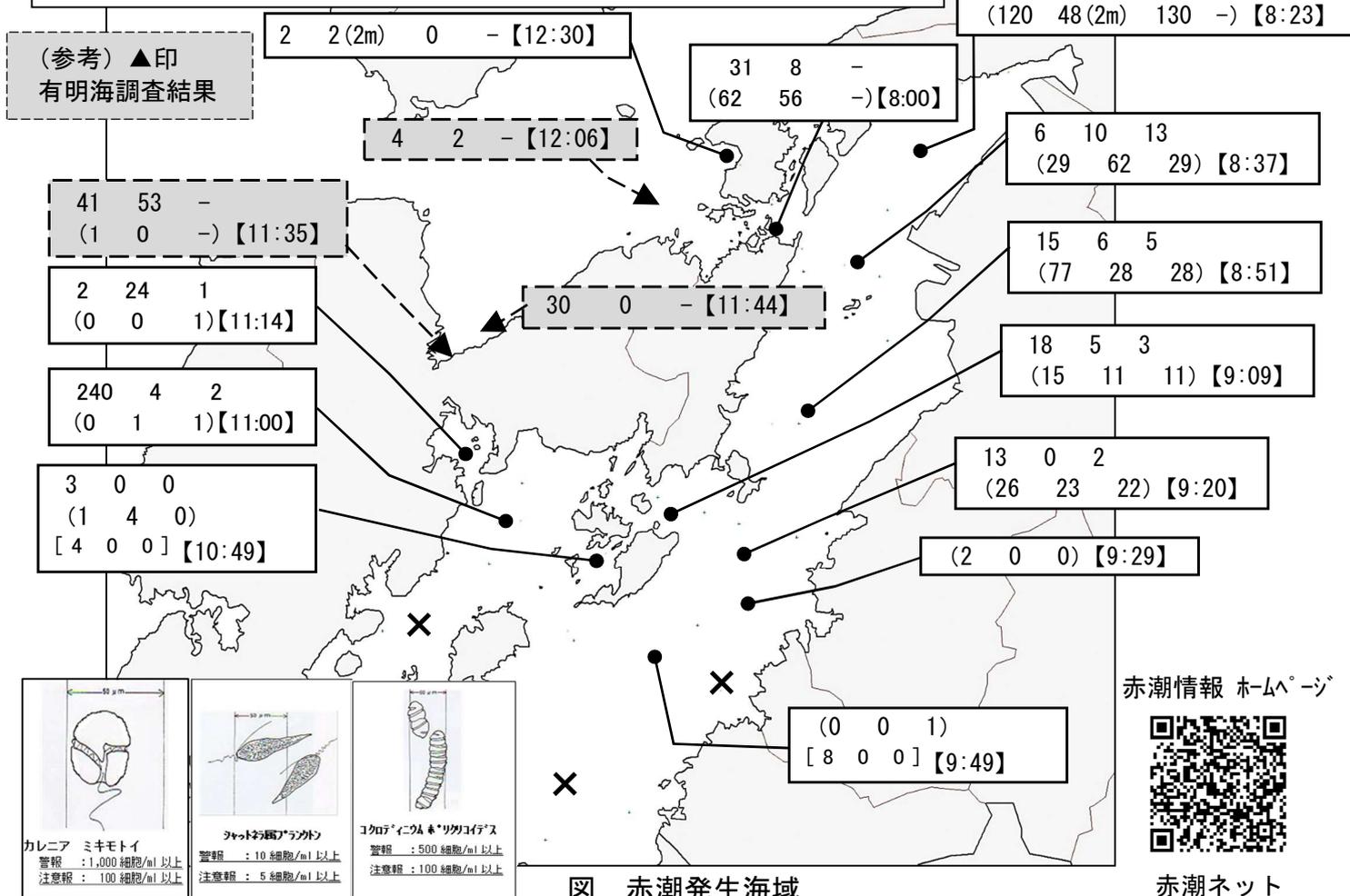
本日、熊本県が八代海を調査したところ、カレニア ミキモトイが海水1mL 当たり**最大240細胞** 確認されました。カレニアの細胞数は減少傾向ですが、今後の海況によっては再び増殖するおそれがあるため、引き続き警戒が必要です。

シャットネラ属は、**最大130細胞**確認されました。八代海北部に加えて嵐口地先や田浦沖で10細胞以上確認されており、今後の海況によっては再び増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

コクロディニウムは、**最大8細胞**確認されました。

カレニア ミキモトイやシャットネラ属は有害で、魚類や貝類などをへい死させる恐れがありますので、周辺海域で養殖・蓄養をされている場合は、**餌止めや、状況に応じて緊急出荷等の対策**を行うとともに、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意してください。

※数字は左から順にカレニア ミキモトイの水深0m, 5m, 10m層の海水1mL 当たりの細胞数です。
()の数字はシャットネラ属。[]の数字はコクロディニウム。【採水時刻】



※×印 : 全ての採水層でカレニア ミキモトイ、シャットネラ属、コクロディニウムが0細胞

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください
(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.jp/public/kaikuInIt.php?qkaiku_id=1&sid=1